

令和2年中に支払った医療費控除の領収書のまとめ方

※本人（さつま太郎）と妻（さつま花子）の場合

医療費控除を受ける場合は、「医療費の明細書」を作成しなければならないため、領収書を「医療を受けた人」→「同じ病院または薬局」ごとに分類してください。

【本人（さつま太郎）分】

- ①…本人分（太郎）ごとに分ける
- ②…同じ病院・薬局ごとに分ける
- ③…それぞれ日付順に並べ、クリップ等でまとめる

同じ人ごとにまとめる

領収証
令和2年1月10日

氏名 さつま太郎

診察代〇,〇〇〇円也

令和2年中のみ

同じ病院ごとにまとめる

さつま町〇〇△△番地
※※※医院

同じ人ごとにまとめる

領収証
令和2年1月10日

氏名 さつま太郎

薬代〇,〇〇〇円也

令和2年中のみ

同じ薬局ごとにまとめる

さつま町〇〇△△番地
※※※薬局

領収証
令和2年6月10日

氏名 さつま太郎

診察代〇,〇〇〇円也

さつま町〇〇△△番地
〇〇〇クリニック

領収証
令和2年6月10日

氏名 さつま太郎

薬代〇,〇〇〇円也

さつま町〇〇△△番地
〇〇〇薬局

【妻（さつま花子）分】

- ①…本人分（花子）ごとに分ける
- ②…同じ病院・薬局ごとに分ける
- ③…それぞれ日付順に並べ、クリップ等でまとめる

領収証
令和2年7月30日

氏名 さつま花子

診察代〇,〇〇〇円也

さつま町〇〇△△番地
※※※医院

領収証
令和2年7月30日

氏名 さつま花子

薬代〇,〇〇〇円也

さつま町〇〇△△番地
※※※薬局

※ねたきり老人等の紙おむつがある場合は、医師の証明書（おむつ使用証明書）が必要です。

▽ 確定申告や住民税申告で医療費控除を受けられる方へ

※医療費控除の申告を受ける際は、6ページの「領収書のまとめ方」を参照され、領収書の合計を記載してきてください。

医療費控除の明細書の記載例

医療を受けた人	続柄	病院・薬局などの支払先の名称	医療費の区分	支払った医療費	左のうち生命保険や社会保険などで補てんされる金額
さつま 太郎	本人	〇〇病院	診察・治療	170,000	
さつま 花子	妻	〇〇病院	診察・治療	350,000	125,000
さつま 一郎	子	〇〇病院	診察・治療	80,000	
〃	〃	△△薬局	医薬品購入	50,000	
合 計				650,000	125,000

※医療費控除の対象となる金額は次のとおりです。

医療費控除額(上限200万円) = 医療費(保険金などで補てんされた額を除く) - 10万円(総所得が200万円以下の人は総所得金額の5%)

※申告の結果、町県民税(所得割)が非課税の場合は、控除対象になりません。

キリリ<

令和 2 年分 医療費控除の明細書

※ 提出用

住 所 さつま町 _____

公民会 _____

氏 名 _____

医療を受けた人	続柄	病院・薬局などの支払先の名称	医療費の区分	支払った医療費	左のうち生命保険や社会保険などで補てんされる金額
合 計				A	B